

ごみの減量化に関する政策提言

**「ごみ分別・ごみ処理の現状に関する
啓発活動の強化」**

平成27年3月

茅ヶ崎市議会環境厚生常任委員会

目次

1.	はじめに	・	・	・	・	2
2.	政策提言	・	・	・	・	4
3.	調査研究の経過	・	・	・	・	6

1 はじめに

環境厚生常任委員会では、平成 26 年度は、市民生活に直結しているごみをテーマに調査研究活動を重ね、ごみ焼却施設の各設備が老朽化し、その更新には多額の費用がかかることや、堤十二天一般廃棄物最終処理場の埋立状況や今後新たに最終処分場を設置することが非常に困難であることを知った。

これら諸課題に対応するためには、ごみ焼却施設の各設備の長寿命化や、堤十二天一般廃棄物最終処分場の負担軽減、さらに現在取り組んでいる焼却灰等有効利用事業における費用負担軽減が必要であり、そのためには、ごみを減らすことが重要である。

そこで本委員会では、「ごみの減量化」をテーマにし、政策提言に向け、勉強会・意見交換会・政策討議・先進地視察等の活動に取り組んできた。

ごみ処理の長期ビジョンとしては、富良野市のように「燃やさない。埋めない」という方向性で進んでいくべきであると考え。そのためには、改めて「混ぜればごみ 分ければ資源 捨てるより進んで再生 再利用」の考え方に立ち返り、ごみを排出する市民・事業者が、ごみに対する理解を深め、きちんと分別を進め、ごみの排出量を減らしていくことが重要である。

調査研究活動に取り組んでいくうちに、市民・事業者等への啓発活動について、方法や内容などに問題があるとの結論に至り、本委員会では、今年度の政策提言として、「ごみ分別・ごみ処理の現状に関する啓発活動の強化」を茅ヶ崎市に提言することに決定した。

この啓発活動の強化は、3つの柱から成り立っている。

(1) 啓発に取り組む組織

行政だけが行うのではなく、市民や事業者も巻き込んだ形で行うこと

(2) 啓発の対象

幼稚園・保育園児から始まる全世代に向けて行うこと

(3) 啓発内容

ごみ焼却場や最終処分場などのごみ処理関連施設、環境指導員に関する啓発を強化すること

茅ヶ崎市に対して、この3本の柱について、現在取り組まれている活動よりも、より一層の啓発強化に取り組み、市民・事業者・行政が一体となって、ごみとしての排出を減らすことや、資源化を図ることで「ごみの減量化」を進めることを強く求めるものである。

以上

2 政策提言

「ごみ分別・ごみ処理の現状に関する啓発活動の強化」

環境厚生常任委員会としての強化を求める啓発活動は以下の通り

(1) 啓発に取り組む組織について

ごみの資源化や減量化の取り組みについては、市だけでなく、市民や事業者を巻き込んだ組織を形成し進めていくことが重要である。

石狩市においては、「いしかり・ごみへらし隊」を、市民・事業者・行政で組織し、この組織の下、各種ごみ処理施設の見学ツアーや出前講座・説明会(有料化など)・広報紙でのごみに関する4コマ漫画の連載などを通じて、市民に対してごみ問題への意識向上などの啓発活動に取り組んでいる。

茅ヶ崎市においても柳島で自治会、環境指導員、子供会の有志で結成されている「柳島きれいにしよう会」が存在しているが、こういった取り組みを全市的に展開できるように啓発組織を形成することを求める。

(2) 啓発の対象について

幼いうちから、ごみについての理解を深めることは重要である。幼稚園や保育園児を対象にし、全世代にわたる啓発活動を行うべきである。

- ・環境戦隊などで子どもが興味を持ち、楽しみながら学ぶ講座
- ・幼稚園、保育園、小学校、中学校にわたるそれぞれに合わせた「ごみ・環境教育の副読本」の作成と配布
- ・幼稚園、保育園、小中学校と連携して、保護者・幼稚園教諭・保育士・教職員なども対象にしたごみに関する教育の強化



環境戦隊 053 ファイブ (苫小牧市)

(3) 啓発内容について

「混ぜればごみ 分ければ資源 捨てるより進んで再生 再利用」の標語に立ち返り、改めてこの考え方を広める。

ごみ焼却場・堤十二天一般廃棄物最終処分場・寒川広域リサイクルセンターなどの各ごみ処理施設に関する啓発強化を求める。特に、最終処分場について、市民の間でも知らない方も多いため、存在や現状についての啓発を強化する。

- ・最終処分場の存在についてのアンケート
- ・市広報番組「ハーモニアス茅ヶ崎」での特集
- ・最終処分場などのツアーの推進
- ・周辺住民の声の発信



環境事業センター



堤十二天一般廃棄物最終処分場



寒川広域リサイクルセンター

地域のごみ全般の問題を日々扱っている環境指導員について、市民に対する知名度も高くなく、なり手不足の現実や日々、心無いごみ排出による分別などで苦闘されていることから、環境指導員が地域でより活躍し、地元住民とともに活動が展開できるようにその存在や活動内容についての啓発を強化する。

- ・広報ちがさき
- ・市広報番組「ハーモニアス茅ヶ崎」など



3 調査研究の経過

環境厚生常任委員会では、政策提言に向けて、以下の日程で、調査研究活動に取り組んできた。

日時	活動	内容
4月16日	環境厚生常任委員会勉強会 (委員間での政策討議)	テーマを「ごみの減量化」に決定
5月9日	環境厚生常任委員会勉強会	担当課を招いての茅ヶ崎市のごみ分別や減量化・資源化の取り組みについて
5月17日	議会報告会・意見交換会	茅ヶ崎市のごみ処理の現状の説明と意見交換
6月17日	環境厚生常任委員会研究会	意見交換会での参加者の意見についての検討
8月18日	環境厚生常任委員会勉強会	担当課を招いての茅ヶ崎市のごみ分別や減量化・資源化等についての啓発活動の取り組みについて
9月17日	環境厚生常任委員会研究会	環境指導員(12地区それぞれ1名ずつ)を招いての勉強会
10月1日	環境厚生常任委員会勉強会 (委員間での政策討議)	今後の進め方の決定
10月2日	石狩市行政視察	市民・事業者・行政の三者によるごみ減量化の取り組み組織「いしかり・ごみへらし隊」について
10月3日	富良野市行政視察	資源化率90%超のリサイクル先進自治体の取り組みについて
10月28日	環境厚生常任委員会勉強会 (委員間での政策討議)	政策提言の素案の方向性の決定
11月13日	議会報告会・意見交換会	素案を提示しての意見交換
11月19日	環境厚生常任委員会 (委員間での政策討議)	意見交換会での意見を踏まえた政策提言素案の検討
12月3日	環境厚生常任委員会勉強会	素案について所管課との意見交換
12月18日	環境厚生常任委員会 (委員間での政策討議)	委員会としての素案の決定
1月19日	全員協議会	全議員へ政策提言(素案)の説明及び意見交換
3月11日	環境厚生常任委員会	政策提言(案)の検討及び政策提言の決定 議長へ報告